

「京都府総合計画」（現行）の概要について

資料 6

「京都府行政運営の基本理念・原則となる条例」に基づき策定している、府政運営の羅針盤
（令和元年10月策定、令和4年12月改定）
【計画期間（基本計画・地域振興計画）：令和5年度～令和8年度】

将来構想

◆2040年に実現したい京都府の将来像

の令和22（2040）年に実現したい京都府の将来像を描いた構想令和22（2040）年を展望し、実現したい将来像を理念的に示したもの

◆数値から見る時代の潮流

令和22（2040）年の京都府の姿を、統計指標を中心に推移を分析したもの

基本計画

◆8つのビジョンと基盤整備

将来像の実現に向けて、8つのビジョンとそれらを支える基盤整備

◆8つの広域連携プロジェクト

府域の均衡ある発展に向けて、オール京都のプレーヤーと府全域で連携

◆分野別基本施策

20の分野別に、現状分析・課題、4年間の対応方向・具体方策、数値目標を体系的に明示

地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに、各地域の資源や特性を踏まえ、概ね4年間の取組を示した計画

「京都府総合計画」（現行）のポイント



人と人との
絆や交流の重要性

府民・地域の皆様
との信頼関係

社会的に弱い立場の方が
厳しい状況に

「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの柱で
「あたたかい京都づくり」を進める

97%超を予算化

「8つのビジョンと基盤整備」

安心

① 安心できる健康・医療・福祉の実現

② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

温もり

③ 子育て環境日本一・京都の実現

④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現

⑤ 共生による環境先進地・京都の実現

ゆめ実現

⑥ 未来を拓く京都産業の実現

⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現

⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

現行の総合計画における主な取組

安心

- ◎災害から府民を守る拠点となる**常設の危機管理センター**の設置（令和6年3月運用開始）
- ◎**福祉医療制度**の充実
 - ・京都子育て支援医療助成制度
3歳～小学校卒業の通院自己負担上限月額を1,500円から200円に引き下げ
 - ・精神障害者の方々を対象とした府独自の医療費助成制度の創設



温もり

- ◎「**子育て環境日本一推進戦略**」の改定とそのエンジンとなる新たな条例の制定
 - ・**京都版ミニ・ミュンヘン**を各地で開催
 - ・全国初の「**親子誰でも通園制度**」を実施し「子育て」と「親育ち」を一体支援
 - ・「**きょうとプレコン高校生教育プログラム**」を作成
- ◎府市共同事業「**京の高校生探究パートナーシップ事業**」の開始
- ◎**生涯現役クリエイティブセンター**の利用者が15万人を突破



ゆめ実現

- ◎**文化庁の京都移転**と、京都を起点とした新たな文化振興や文化の世界発信
- ◎府内各地における**産業創造リーディングゾーン**の形成
 - ・アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（ATVK）の開設（令和5年10月）
 - ・脱炭素関連スタートアップ拠点「**ZET-BASE KYOTO**」の開設（令和7年4月）
 - ・「**けいはんなフードテックヒル**」（仮称）の整備着手
- ◎**大阪・関西万博**を契機とした京都の魅力発信



基盤づくり

- ◎府域の均衡ある発展を支える、鉄道網や道路網などの基盤整備の加速
 - ・**JR奈良線高速化・複線化第2期事業**の開業
 - ・国や地元と連携し、**山陰近畿自動車**の整備を促進（網野-久美浜のルート帯決定等）
 - ・**京都縦貫自動車道のNEXCO西日本への移管**
 - ・**鷲峰山トンネル**や**白鳥トンネル**、**南八田道路**、**東中央線**、**木津川東バイパス**の開通



京都の魅力の源泉

- 京都は、**豊かな自然**を背景として、**生活文化**や**伝統芸能**、**知の集積**、**幅広い産業**など、多様な魅力の源泉が存在。**国内外の多彩な人材を魅了**してきた。
- 社会のあり方が大きく変わろうとしている今、これらの魅力を改めて問い直し、磨き上げることにより、**次の世代へ引き継ぐ**。

※以下は一例

豊かな自然

- ▶ **豊かな自然**それ自体に加え、人と自然との交わりの中で生み出される**景観**や**農林水産品**など、多様な魅力の源泉が存在。
- ▶ 一方で、気候変動により、**急激な植生の変化**や**高温・渇水**による被害が発生。また、人口減少・少子化により、**自然の守り手が減少**。



文化芸術

- ▶ 神社仏閣・伝統工芸品などの**有形文化**、能狂言・食などの**無形文化**、三大祭・地蔵盆などの**民俗文化**のいずれにおいても、世界に類を見ない魅力の源泉が存在。
- ▶ 一方で、**需要の変化**や**職人の減少**などにより、**維持が困難**になりつつあるものも



知の集積

- ▶ 京都には43の大学等が集積し、**人口当たりの学生数は日本一**。また、**けいはんな学研都市**も立地。
- ▶ 一方で、**国際的な学術研究拠点化**や**知×産業の連携**による**新産業の創出**については道半ば。



産業

- ▶ **伝統産業**や**農林水産業**に加え、知の集積と結びついた**先端産業**・**半導体産業**や新たな時代の潮流を取り込んだ**スタートアップ**・**コンテンツ産業**など、多彩な産業が立地。
- ▶ 一方で、人口減少・少子高齢化により、**中小企業を中心に担い手不足**に起因する休廃業が増加。



生活文化

- ▶ それぞれの分野で「**本物**」を追求する気概と審美眼を持つ人材が集う。四季の行催事や門掃き・打ち水など、日本人の**心根や美意識**が暮らしに根ざしてきた。
- ▶ 一方で、市場・門前町などの様子の変化や京町屋のあるまちなみの減少など、**京都の暮らしが失われつつあるとの指摘**も。



人口減少

- ▶2040年の京都府における**生活維持サービスの不足率は41.4%**との推計。
(リクルートワークス研究所「2040年の生活維持サービス充足率」)
- ▶2050年の**人口推計**は2025年比で、**京都市内(▲14.0%)**に対し、**丹後地域(▲40.4%)**、**南丹地域(▲30.5%)**、**中丹地域(▲24.4%)**と大きな地域差。
(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」)
- ▶東アジアでは、長時間労働、専業主婦モデルなどの制度疲労により、**家族を持つことが合理的でなくなった**ことが少子化の核心。
(溝口由己「少子化するアジア」)

気候変動

- ▶1996～2025年の**年間猛暑日数**は、1910～1939年の**約4.2倍**。2016～2025年の**1時間降雨量80mm以上**の年間発生回数は1977～1986年の**約2倍**。
(気象庁「大雨や猛暑日など(極端減少)のこれまでの変化」)
- ▶気候変動は、各国の**マクロ経済及び金融の安定性に影響**を及ぼしている。**インフラの強靱性を変化**させ、**資本の維持および更新にかかるコストを増加**させる。
(IMF「Integrating Climate Change into Macroeconomic Analysis」)
- ▶気候変動は**農業収量からサプライチェーンの混乱まで、食料システム全体に影響**。
(FAO「Climate change impacts and adaptation options in the agrifood system」)

AIによる技術革新

- ▶AIの不適切な利用は**均質化のリスク**を生む。多くの企業責任者が、アルゴリズムによって**ブランドが似通う**と考えており、**より深い創造性と人間的要素が必要**である。
(World Economic Forum「As AI rises, so does the need for more human creativity」)
- ▶機械が高度化するにつれ、**人間の直感・感情・想像力の独自の価値**がかえって際立つ。また、**手工芸や人間の創造性を保護し育てる必要**がある。
(World Economic Forum「The art of being human: Creativity's role in the intelligent age」)
- ▶京都は、一過性の流行に左右されない**確立された「型」**を持っている。AIによって容易に模倣や大量生産ができるからこそ、**「本物」の価値が重視**される。
(コンテンツ業界有識者との意見交換)
- ▶**世界の雇用の4分の1は生成AIの影響を受ける可能性**があり、自動化のリスクが最も高い職種は、雇用の中で大きな割合を占めている。
(ILO「Generative AI and Jobs: A Refined Global Index of Occupational Exposure」)
- ▶**サイバーセキュリティにおける脅威に直面**。**フロンティアAIモデル**による、脆弱性の発見等に関する対応に、**危機感を持って迅速に取り組む必要**。
(内閣官房国家サイバー統括室「AI性能の高度化を踏まえたサイバーセキュリティ対策の強化について」)

国際情勢の不安定化

- ▶地政学リスクにより、国際経済の不確実性が構造的に拡大し、各国経済・企業行動に広範な影響を与えており、**「一時的ショック」ではなく「構造変化」**
(経済産業省「通商白書(2025年版)」)

今後の府政の方向性（現時点）

- 社会経済情勢を踏まえ、「あたたかい京都」の上に、「安心」「はぐくみ」「輝き」をキーワードに、国内外を魅了する「わくわくする京都」を目指す。

- ① 危機に備え、地域で暮らし続けられる、「安心できる京都」
- ② 誰もが役割を持って活躍できる、「はぐくまれる京都」
- ③ 受け継がれてきた多彩な魅力にあふれる、「輝く京都」

新たな総合計画のビジョン例とそれを構成する未来像（案）

- ① 地域で健やかに暮らし続けるための生活サービスの再構築
- ② 防災から再建までを支える、府民に寄り添った危機管理体制の構築
- ③ 若者が子どもを持ちたいと思う「子育て環境日本一・京都」の実現
- ④ 変化し続ける社会で誰もが生涯にわたって輝き続ける京都の実現
- ⑤ 千年後も京都が京都であるための、京都の魅力の磨き上げ
- ⑥ 世界をリードする京都産業創造プロジェクトの展開
- ⑦ ネットワークで繋がる真に国際的な学術研究拠点の形成
- ⑧ リスクを織り込み持続的に発展する中小企業・農林水産業の基盤構築
- ⑨ 北部地域の魅力がつながり輝く京都の実現
- ⑩ 府内各地の人や物の交流の基盤となる強靱で持続可能なインフラ網の形成
- ⑪

：

新たな総合計画のビジョン例とそれを構成する未来像（案）

1	① 地域で健やかに暮らし続けるための生活サービスの再構築
2	● テクノロジーや多職種連携、地域を越えた支え合いによって、医療・介護・福祉などの専門職がケアの価値向上に注力でき、学び合い、誇りを持って成長し続けられる京都
3	● 病気、障害、認知症、介護の有無などにかかわらず、暮らしの主語が“本人”であり、自分らしく暮らし続けることができる京都
4	・ ・ ・
5	② 防災から再建までを支える、府民に寄り添った危機管理体制の構築
6	● 安心して過ごせる避難所などの全国トップレベルの危機管理体制と、地域・福祉・企業などのつながりによる地域力で、命と暮らしを守り抜く京都
7	● 地域・学校・商店街・観光地・デジタル空間等が連携し、子どもから高齢者、来訪者まで、誰もが安心して日常を楽しめる京都
8	・ ・ ・
9	③ 若者が子どもを持ちたいと思う「子育て環境日本一・京都」の実現
10	● 子どもが幼いころから社会とつながり、京都の多様な主体との関わりの中で、不安定で不確実な社会を生き抜く力を育むことのできる京都
11	● 性別に関わらず、子育て世代の子育てと働くことの両立が実現し、若者や現役世代に選ばれ、そのいきいきとした姿を見た若者が、子どもを持ち、育てたいと思える京都
12	● それぞれの地域の特徴やまちづくりに応じて、文化、歴史や豊かな自然に囲まれた暮らしなど、特色ある多彩な子育て環境が整う京都
13	● すべての子どもや若者が、自分らしく過ごせる居場所を持ち、挑戦と失敗を繰り返しながら安心して成長できる京都
14	・ ・ ・

9	④ 変化し続ける社会で誰もが生涯にわたって輝き続ける京都の実現
10	● 性別、年齢、障害の有無などに関わらず様々な主体が、地域・職場・学校などで役割や居場所、繋がりを持つことができ、挑戦、交流、創造が広がる京都
11	● 子育てや介護中の人、若者、女性、シニア、専門人材など、一人ひとりが働く場所や時間、担う役割やキャリア形成を希望に応じて選択でき、住み続けながら、自分らしく活躍できる京都
12	● 誰もが学び直しや職業訓練、キャリア相談、地域とのつながりなどを通じて、希望する形で社会や仕事に参画し続け、「挑戦・役割・活躍」を実感できる京都
13	● 国籍や生活習慣の違いに関わらず、外国人が地域社会の一員として受け入れられ、安心して暮らし、働き、学びながら、その能力や個性を活かし地域とともに成長する京都
14	・ ・ ・
15	⑤ 千年後も京都が京都であるための、京都の魅力を磨き上げ
16	● 伝統文化の担い手・継承者や芸術に挑むアーティスト等が、人や地域とつながり直し、適正な報酬と保護に支えられ、評価される中で創造を生涯の仕事として築ける京都
17	● 地域住民の誰もが日常の中で茶の湯、いけばな、祭、アート、町家、ギャラリー、学校、商店街等に触れ、自分も参加者・支え手・語り手になれる京都
18	● 子どもや若者が自分の「好き」を起点に、様々な場所で、プロスポーツとの交流やデジタル技術を通じて、多様な形でスポーツに関わり、仲間・地域・未来とつながる京都
19	● 働き盛りも高齢者も、通勤や買物、地域活動などのついでに気軽に体を動かし、仲間との交流を通じて健康寿命と地域のつながりを楽しく育てられる京都
20	● 訪れる人が文化や暮らしに入り込み、AI等の新しい技術も活用し、自分に合った体験を重ねながら学び・つながり、人生を変える出会いが生まれる京都
21	● 観光が府域全体に広がり、地域の人と訪れる人が出会い・関わり・支え合いながら、誇りと豊かさを分かち合う京都
22	● 訪れる人が地域の祭りや芸能等を「見る」だけでなく、文化を学び、活動に参加し、かかわり方の希望にあわせて、文化の支え手となり、文化を未来に受け継ぎ、育みつづける京都
23	・ ・ ・

⑥ 世界をリードする京都産業創造プロジェクトの展開	
20	●伝統産業が革新と融合し、若者や海外人材も参画しながら新たな価値を創造し続け、職人の匠の技や文化が暮らしや産業の中で息づき、世界に誇れる魅力として伝わる京都
21	●AI・半導体分野で産学公が連携し、国内外の人材が集い挑戦を重ねることで、世界の産業と社会を先導する拠点となる京都
22	●コンテンツやメディア芸術が文化・観光・技術と融合し、クリエイターが自由に発想し発信できる環境の中で、新たな表現と産業が生まれ続ける京都
23	●多様な人材や資金、知が交差し、起業家が挑戦と成長を繰り返しながら社会課題の解決に取り組む、次々と新たな価値と産業を生み出すスタートアップ・エコシステムが広がる京都
24	●アートと最先端技術が融合する拠点に国内外の人材が集い、分野を超えた共創が日常的に生まれ、新たな文化と産業が次々に実装される実験と創造の場となる京都
25	●再生可能エネルギーや省エネ技術が地域や産業に広く浸透し、環境と経済が好循環する中で、多様な主体が主体的に参加しながら持続可能な社会を実現する先進的な京都
26	●食文化と先端技術が融合し、生産から流通、消費まで新たな価値が創出され、安全・持続可能で魅力ある「食」を世界に発信し続けるフードイノベーション都市京都
	・ ・ ・
⑦ ネットワークで繋がる真に国際的な学術研究拠点の形成	
27	●教育・子育て・医療等の環境が整備され、海外からの研究者や家族が安心して暮らし、多様な文化や専門性が日常的に交わることで、研究成果だけでなく新たな価値を生み出す関西学術研究都市
28	●交通ネットワークの再構築が進むことで、研究機関、大学、企業等がシームレスにつながり、京都・大阪・奈良をつなぐ知のモビリティ・ハブとなる関西学術研究都市
29	●自動運転、AI、ロボット、ヘルスケア、フードテック、環境などの未来技術が住民の生活を支えるインフラとなり、未来に住まう体験が可能となる関西学術研究都市
	・ ・ ・

⑧ リスクを織り込み持続的に発展する中小企業・農林水産業の基盤構築	
30	●女性やシニア層など多様な人材が、DX化等に伴う生産性向上により、それぞれのライフスタイルに応じて活躍でき、「京都で働くこと」が誇りと成長実感につながる京都
31	●様々な形態の事業承継を柔軟に選択でき、技術・信用・顧客基盤を次の世代が引き継ぎ、新規事業やデジタル化で“京都らしい会社の再創業”が次々に生まれる京都
32	●原材料高・エネルギー高にも対応できるよう、京都企業が持つ優れた技術やブランドを活かした高付加価値化を実現し、賃上げと次の成長投資を生み出す地域産業へ進化する京都
33	●本業を持ちながらも、地域と食を支える「多様な働き方としての農業」に誰でも取り組むことができる京都
34	●データ駆動の生産管理等が普及し、高付加価値かつ高収入を実現する「スマート農業」を通じて、世界市場に接続する京都
35	●誰もが農業に参加・共創でき、豊かな生活・環境・コミュニティなどを享受することができる京都
	・ ・ ・
⑨ 北部地域の魅力がたっぷり輝く京都の実現	
36	●丹後郷土資料館等を核に、歴史・文化・自然の魅力を結ぶ体験交流ネットワークを広げ、国内外の人々とのつながりから新たな価値や文化が生まれる北部地域
37	●シルクテキスタイルやものづくり、農林水産業等を基盤に、高付加価値化と市場開拓を進め、挑戦する人材が集い育ち、新たなしごとが生まれる北部地域
38	●AI・DXを活用し、移動・医療・教育・防災等を確保することで、世代や地域を越えて人々がつながり支え合い、安心して住み続けられる北部地域
	・ ・ ・
⑩ 府内各地の人や物の交流の基盤となる強靱で持続可能なインフラ網の形成	
39	●あらゆる災害を見据えたリダンダンシーを確保するとともに、交通ネットワークによって地域が日本各地や世界とつながり、人・モノ・情報が府内すみずみまで巡る京都
40	●いつでも、どこでも、誰もが、ニーズに応じた地域公共交通を移動手段として選択できるとともに、地域公共交通を地域ぐるみで支え、次世代へつなぐ持続的な交通体系が根付く京都
41	●技術の進歩に応じたデジタル基盤が、安全性と信頼性を確保しながら進化し続け、誰もが安心してその恩恵を享受できる包摂的なデジタル社会が実現する京都
	・ ・ ・